

モノづくりのまち「東大阪」

独自フォントのプレート製作 市内企業が市に寄贈

大阪府東大阪市の「モノづくりのまち」をテーマとして、近畿大学と連携して「都市ブランド形成推進事業」を展開している。同事業で2018年8月に製作した東大阪独自フォントを使った金属製プレートを市内企業が加工し、市に寄贈した。加工したのは、鉄道車両部品を製造するexcelle

nt(エクセラント、秋本倫宏社長)のプレートを市役所1階のロビーに設置された。「Kontrapunk t(コントラポイント)」が協働で生み出した東大阪モノづくりの精神を表した書体。市内企業が相互に協力し合い製品を



▲除幕式に臨む野田義和市長(左)と秋本社長(東大阪市役所)

HIGASHI-Osaka

つくりあげることや、東大阪で生まれる部品群がつながり合うことでさまざまな製品となることから、つながりをデザインモチーフとしている。

パソコン上で大文字アルファベットを打つと、自動で文字と文字がつながる他に類を見ない書体。市内のモノづくり企業や東大阪にゆかりのあるモノづくり企業であれば無料で使用できる。

▲つながりをモチーフに製作したフォント